人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 急性閉塞隅角緑内障発作に対するサイドポート周辺虹彩切除術の短期眼圧下降効果および治療としての有用性に関する後ろ向き観察研究 ●研究の対象 2017 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに、浜松医科大学医学部附属病院 眼科で急性閉塞隅角緑内障発作又は急性原発閉塞隅角症と診断され、通常診療としてサイドポート周辺虹彩切除術または即日白内障手術を受けられた方を対象とします。対象症例数は最大 100 眼を予定しています。 ●研究の目的 急性閉塞隅角緑内障発作は、眼圧が急激に上昇し、眼痛、頭痛、吐き気、視力低下などを起こす眼科の救急疾患です。治療として、薬物治療、レーザー治療、白内障手術などが行われますが、角膜のむくみや前房の浅さにより、急性期にレーザー治療や白内障手術をすぐに行うことが難しい場合があります。 この研究では、急性期に通常診療として行われたサイドポート周辺虹彩切除術について、眼圧を下げる効果、安全性、その後の白内障手術までの経過を、診療録の情報を用いて調べます。これにより、同手技が白内障手術までの橋渡し治療として有用かどうかを検討することを目的とします。 ●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで ●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日 ●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

試料・情報の項目≫	情報：年齢、性別、診断名、治療日、治療眼、眼圧、視力、隅角所見、角膜所見、治療内容（サイドポート周辺虹彩切除術、白内障手術等)、手術記録、術後経過、術中・術後合併症、併用薬、白内障手術への移行状況、白内障手術までの日数、最終受診時の眼圧・視力・所見等 試料：この研究では血液などの人体から取得された試料は使用しません。
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学医学部附属病院 眼科 研究責任者：兼子　裕規
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。なお、この研究では人体から取得された試料は使用せず、外部の研究機関への情報提供も行いません。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。 ただし、すでに個人が特定できない形で解析が終了している場合や、研究結果が学会・論文等で公表済みの場合には、ご希望に沿えないことがあります。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	研究の概要や実施状況について知りたい場合はお問い合わせください。また、あなたご自身に関する保有個人情報について開示等を希望される場合は、本学の規程等に従い対応いたします。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：医学部附属病院 眼科（眼科学講座） 担当者：青島　周太 TEL：053 - 435 - 2111（病院代表） E-mail：shuta.a@hama-med.ac.jp